

## 全国「地域元気調査2015」

日本の元気は踊り場?全国的な元気は中くらいで、今後が正念場  
日本初の試み、地域の元気度を測定する全国「地域元気調査2015」実施

この度、株式会社アール・ピー・アイ(代表取締役:長澤博英)と株式会社バイヤーズ・ガイド(代表取締役社長:永瀬正彦)は共同調査として、全国約1.6万人の20~69歳の男女を対象に、「地域元気指数」調査及び、「食のイメージ」調査からなる**全国「地域元気調査2015」**を実施しました。

近年、人口減少や少子高齢化による「地域」の活力が低下する中、地域の元気回復に向けた取り組みが活発化しています。一方で、地域を元気にするための課題や元気の源(要因)は、各地方でそれぞれに異なり、効果的な取り組みを行うことは容易なことではありません。

状況下、地域の元気度を主観的、客観的に評価し、数値化するための基準や測定方法、元気づくり及び食のイメージに関わる各種指標等の基礎データ構築が課題となっています。

このため、地域の元気度を経年的に把握する、日本初の全国規模の調査として、全国「地域元気調査2015」を実施しました。結果は以下のとおりです。

### ～全国「地域元気指数」調査～

2015年度、全国の**地域元気指数は平均で5.76**(10段階評価)、どちらともいえないの5.0と6.0が43.5%を占め、DI<sup>(※1)</sup>はマイナス5.3ポイントと減退傾向  
都道府県別1位は沖縄県(6.37)、2位神奈川県(6.23)、3位福岡県(6.18)。市町村では1位神奈川県藤沢市(7.14)、2位滋賀県草津市(6.89)、3位沖縄県石垣市(6.84)。町で唯一、徳島県北島町(6.60)が10位以内にランクイン。<sup>(※2)</sup>

#### 主なTOPICS

- ▶地域元気が高まると、個人の幸せ感も増加することが判明。
- ▶5万人未満の市は地域元気指数が4.98、DIがマイナス17.9ポイント。活力の急激な低下が懸念。
- ▶地域元気指数は“南高北低”。
- ▶地域の元気は、「まちの賑わい」「地域経済の安定」「住みよさ」にあり。

※1 DI=前年との元気度の増減傾向をみる指数  
※2 サンプル数が20件以上あった174市15町中

### ～47都道府県「食のイメージ」調査～

食のイメージは総合力で「北海道」が首位。「大阪府」「福岡県」が追撃、「京都府」「沖縄県」「新潟県」も健闘

#### 主なTOPICS

- ▶食材よりも加工品・料理で地域を認知する傾向がある。
- ▶印象に残った品目は「新潟県のコシヒカリ」、「香川県の讃岐うどん」など。
- ▶「松阪牛」「北海道スイーツ」「静岡茶」など、ブランド商品は地域名との相性が良い。

#### ●全国「地域元気指数」調査 に関するお問い合わせ

株式会社アール・ピー・アイ

東京都千代田区三崎町3-1-16 神田アムックスビル8階 E-mail [genki@rpi.co.jp](mailto:genki@rpi.co.jp)

地 域 を 元 気 に す る 。

**R P I** Regional  
Planning  
Institute

#### ●47都道府県「食のイメージ」調査 に関するお問い合わせ

株式会社バイヤーズ・ガイド

東京都港区西麻布4-10-3 ヴィラあざぶ302号 E-mail [research@buyersguide.jp](mailto:research@buyersguide.jp)

流通・飲食業に「食」を情報発信 Web Site & Free Paper

**バイヤーズガイド**

## ■調査概要

### ●調査目的

- ・当該住民が主観的・客観的に、自らの地域の元気度合いを数値化する「地域元気指数」及び、その構成要素を評価する「地域元気指標」をもって、「地域の元気」を定点観測し、地域活力の維持・増進に寄与することを目的として「地域元気指数」調査を実施した。
- ・また、47都道府県について、具体的にイメージできる品目を尋ねることによって、各都道府県の“食”に関するイメージや地域ブランドの認知を明らかにすることを目的とした「食のイメージ」調査を合わせて実施した。

### ●調査方法

インターネットによる調査

### ●調査対象

全国20～69歳の男女

### ●調査時期

2015年8月1日～8月10日

### ●割付方法

全国47都道府県について、都道府県内の市町村を人口の多い順に並べ替え、人口比が7:3になるところで2つのグループに分け、人口大グループ：人口小グループの回答者がおおむね均等になるように回収した。

※市町村人口は、平成22年国勢調査時点での人口

### ●集計方法

平成22年国勢調査市町村人口に基づき、47都道府県×人口大小グループ×年代3区分＝282区分の人口構成に従ってウェイトバック集計を行った。

### ●サンプル数

1次調査 29,773件

2次調査 15,822件（※1次調査の回答者の中からランダムに約半数を抽出）

### 1次調査 回収サンプル数

◆居住地	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	
人口大	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	
人口小	320	320	317	320	314	316	320	320	320	320	320	320	320	320	320	314	
小計	640	640	637	640	634	636	640	640	640	640	640	640	640	640	640	634	
	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	
人口大	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	
人口小	314	314	314	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	314	266	
小計	634	634	634	640	640	640	640	640	640	640	640	640	640	634	586	538	
	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計	
人口大	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	15,040	
人口小	320	320	320	314	314	320	236	320	314	320	320	320	316	320	318	14,733	
小計	640	640	640	634	634	640	556	640	634	640	640	640	636	640	638	29,773	
◆年代	20-34歳	35-49歳	50-69歳	合計	※2次調査は1次調査のおおむね半数												
	9,256	9,376	11,141	29,773													

※サンプル割付時の居住地で集計

### ◎1次調査結果のサンプル数(補正後)

◆居住地	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	
	1284	310	292	542	238	254	448	695	469	460	1749	1487	3249	2195	529	247	
	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	
	266	178	193	474	472	867	1752	421	325	608	2095	1297	323	221	129	153	
	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計	
	434	651	321	174	221	317	166	1173	186	313	397	267	248	369	312	29,773	
◆年代	20-34歳	35-49歳	50-69歳	合計	※調査実施時の居住地で集計												
	7,893	9,511	12,369	29,773													

### ◎2次調査結果のサンプル数(補正後)

◆居住地	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	
	682	164	155	288	126	135	239	369	249	245	930	790	1726	1168	281	131	
	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	
	142	94	103	252	251	461	931	224	173	323	1113	689	172	118	68	81	
	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計	
	231	346	171	93	117	169	88	624	99	166	211	141	132	196	166	15,822	
◆年代	20-34歳	35-49歳	50-69歳	合計	※調査実施時の居住地で集計												
	4,196	5,053	6,573	15,822													

※図表中の居住ブロックに含まれる都道府県は、以下の通り。

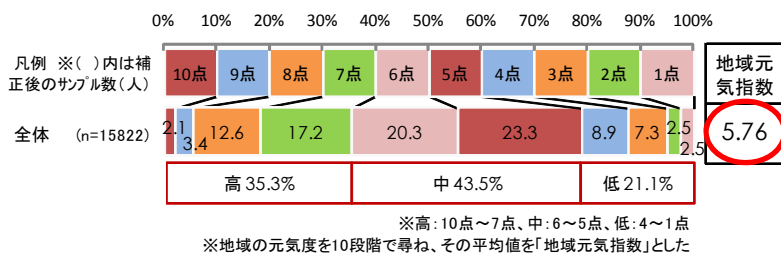
北海道	北海道
北東北	青森県、岩手県、秋田県
南東北	宮城県、山形県、福島県
北関東	茨城県、栃木県、群馬県
南関東	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
甲信越	新潟県、山梨県、長野県
北陸	富山県、石川県、福井県

東海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
沖縄	沖縄県

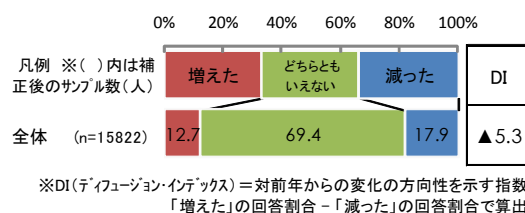
- ▶ 地域元気指数は5.76で中位の元気度、DIはマイナス5.3ポイントで、全国的に減退傾向、今、日本の元気は踊り場。
- ▶ 地域元気が高まると、個人の幸せ感も増加することが判明。

- ・2015年日本の地域元気指数は5.76(10段階評価)で、どちらともいえない中位の状態で、かつ、前年との元気度の増減傾向を表すDIはマイナス5.3ポイント減少し約7割は「どちらともいえない」としていることから、日本全体の元気度は踊り場にあり、今後、上るのか下るのかの正念場にあるといえる。
- ・地域の元気度と個人の幸せ感には強い関係があり、地域が元気であると感じている人ほど、個人の幸せ感も高い傾向にある。地域の元気が1上がると、個人の幸せ感が0.74上がるという関係にあり、地域が元気になることで、幸せな人が増えることが分かった。

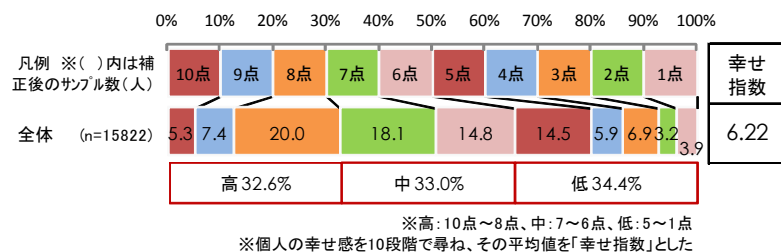
## ■ 地域の元気度(単一回答)



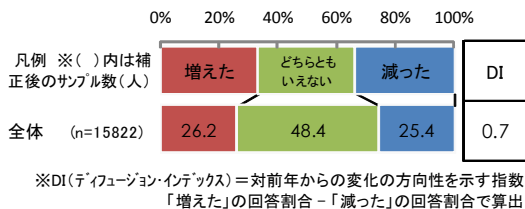
## ■ 地域の元気度の前年比(単一回答)



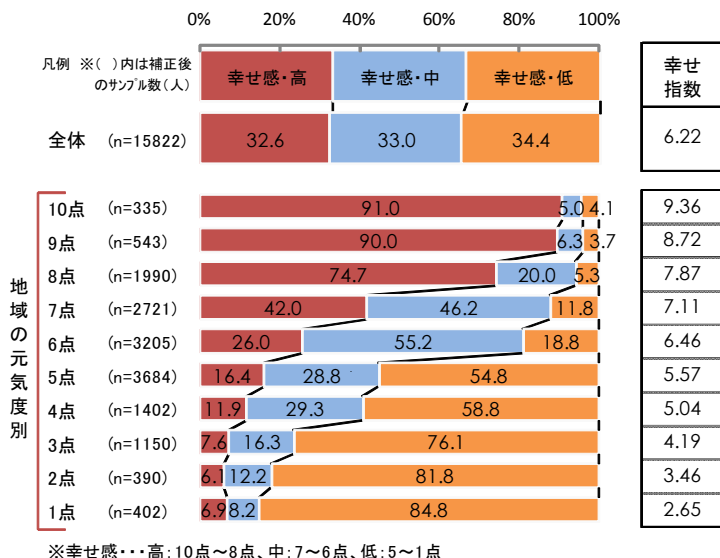
## ■ 個人の幸せ感(単一回答)



## ■ 個人の幸せ感の前年比(単一回答)



## ■ 地域の元気度と個人の幸せ感の関係(単一回答)



### < 相関分析 >

相関係数	現在暮らしている地域の元気度 [10点満点]
今のあなたの幸福度 [10点満点]	0.626

### < 回帰分析 >

● 目的変数(y)	今のあなたの幸福度 [10点満点]	回帰分析係数
説明変数(x)	現在暮らしている地域の元気度 [10点満点]	0.74
● 目的変数(y)	現在暮らしている地域の元気度 [10点満点]	回帰分析係数
説明変数(x)	今のあなたの幸福度 [10点満点]	0.53

## 2. 都道府県別・市町村別 地域元気指数

全国「地域元気調査2015」

- 2015年度の都道府県別地域元気指数1位は沖縄県(6.37)、2位神奈川県(6.23)、3位福岡県(6.18)。市町村では1位神奈川県藤沢市(7.14)、2位滋賀県草津市(6.89)、3位沖縄県石垣市(6.84)。
  - 町で唯一、徳島県北島町(6.60)が10位以内にランクイン。
  - 人口規模が大きい都市ほど地域元気指数が高くなる傾向。
- ・5万人未満の市において、地域元気指数が4.98と低く、昨年に比べ元気が「減った」と感じる人が「増えた」と感じる人より18ptも上回り、かなり危機的な状況、元気づくりの正念場と思われる。

■ 都道府県別 地域元気指数上位10

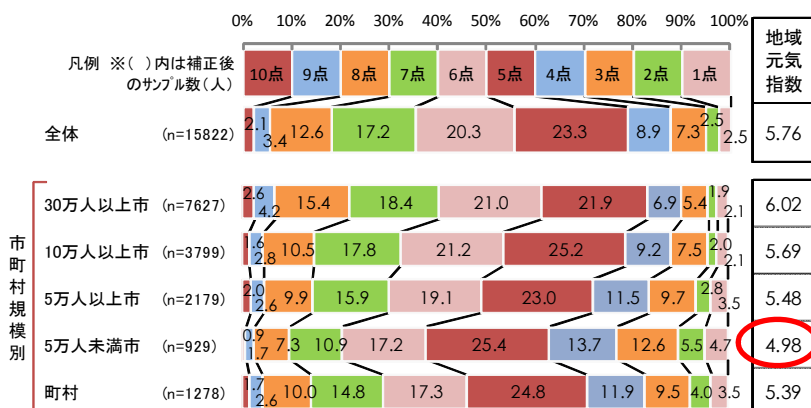
順位	都道府県名	地域元気指数
1位	沖縄県	6.37
2位	神奈川県	6.23
3位	福岡県	6.18
4位	東京都	6.12
5位	愛知県	6.09
6位	兵庫県	6.04
7位	石川県	5.95
8位	滋賀県	5.92
9位	京都府	5.91
10位	広島県	5.83
	全国平均	5.76

■ 市町村別 地域元気指数上位10

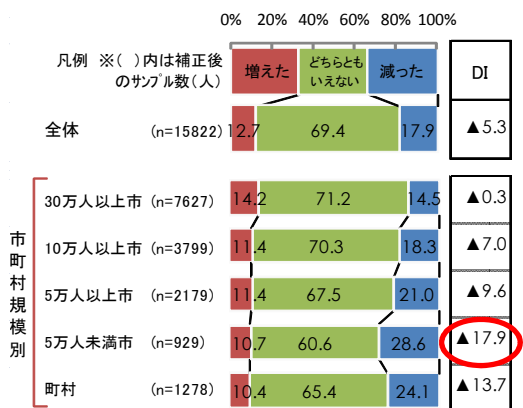
順位	市町村名	地域元気指数	市町村規模
1位	神奈川県藤沢市	7.14	30万人以上の市
2位	滋賀県草津市	6.89	10万人以上の市
3位	沖縄県石垣市	6.84	5万人未満の市
4位	佐賀県鳥栖市	6.74	5万人以上の市
5位	愛知県豊田市	6.73	30万人以上の市
6位	福岡県福岡市	6.67	30万人以上の市
7位	石川県金沢市	6.63	30万人以上の市
7位	沖縄県那覇市	6.63	30万人以上の市
9位	徳島県北島町	6.60	町村
10位	石川県かほく市	6.52	5万人未満の市
	全国平均	5.76	

※サンプル数が20件以上集まった174市15町が対象  
 ※東京特別区部は一体で30万人以上の市としてカウント  
 ※市町村人口は、平成22年国勢調査時点での人口

■ 市町村規模別 地域の元気度(単一回答)



■ 地域の元気度の前年比(単一回答)



※DI(ディフュージョン・インデックス) = 対前年からの変化の方向性を示す指数  
 「増えた」の回答割合 - 「減った」の回答割合で算出

### 3. 性年代別・居住ブロック別 地域元気指数と幸せ指数

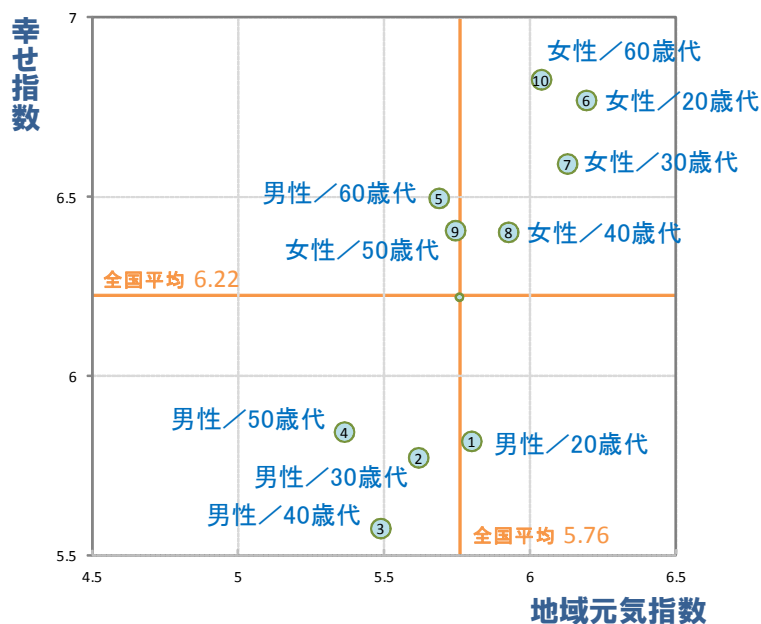
全国「地域元気調査2015」

- 地域の元気は圧倒的に若い女性がけん引。
- 地域元気指数や幸せ指数は“南高北低”。

- ・地域の元気を感じているのは、女性/20歳代が最も高く、次いで女性/30歳代、女性/60歳代が続き、幸せ指数も高い。
- ・地域元気指数と幸せ指数が最も高いのは「沖縄」。次に「九州」や「東海」、「近畿」において高い。一方、地域元気指数、幸せ指数が低いのは「北東北」で、他ブロックに比べて著しく低位にある。

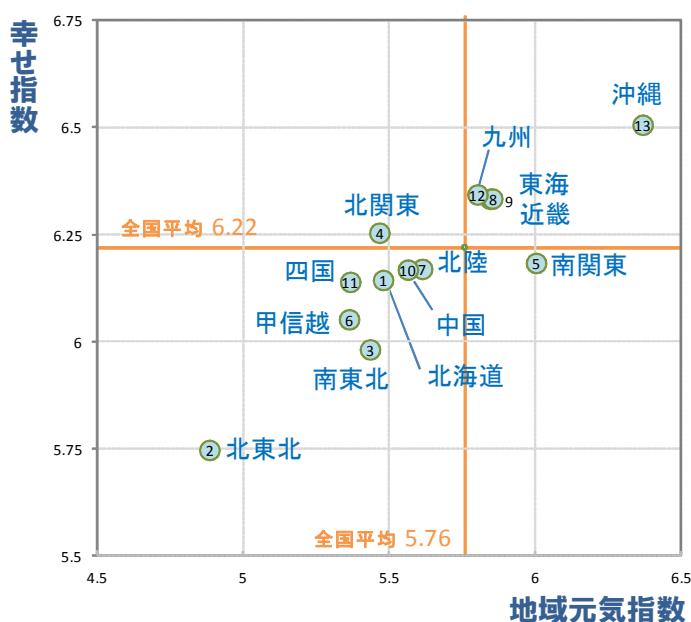
#### ■性年代別 地域元気指数と幸せ指数

		( )内は補正後のサンプル数 (人)	地域元 気指数	幸 せ 指 数
全体		(15,822)	5.76	6.22
性 年 代 別	男性/20歳代	(630)	5.80	5.82
	男性/30歳代	(1,197)	5.62	5.77
	男性/40歳代	(2,087)	5.49	5.58
	男性/50歳代	(2,698)	5.36	5.85
	男性/60歳代	(1,833)	5.69	6.50
	女性/20歳代	(1,584)	6.19	6.77
	女性/30歳代	(2,184)	6.13	6.59
	女性/40歳代	(1,567)	5.92	6.40
	女性/50歳代	(1,415)	5.74	6.41
	女性/60歳代	(627)	6.04	6.83
			上位1位	下位1位



#### ■居住ブロック別 地域元気指数と幸せ指数

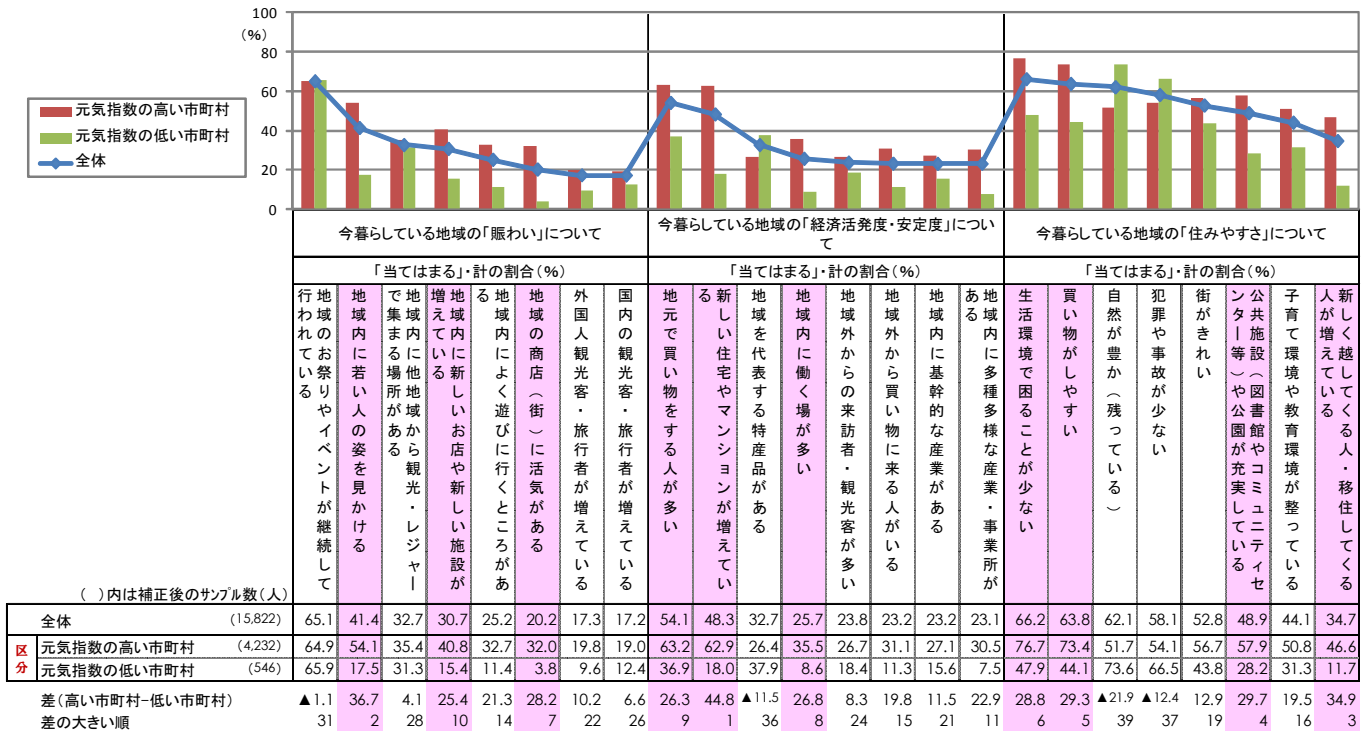
		( )内は補正後のサンプル数 (人)	地域元 気指数	幸 せ 指 数
全体		(15,822)	5.76	6.22
居 住 ブ ロ ッ ク 別	北海道	(682)	5.48	6.15
	北東北	(446)	4.88	5.75
	南東北	(662)	5.43	5.98
	北関東	(863)	5.47	6.26
	南関東	(4,614)	6.00	6.18
	甲信越	(636)	5.36	6.05
	北陸	(367)	5.61	6.17
	東海	(1,866)	5.84	6.33
	近畿	(2,588)	5.85	6.34
	中国	(897)	5.56	6.17
	四国	(467)	5.37	6.14
	九州	(1,568)	5.80	6.34
	沖縄	(166)	6.37	6.51
			上位1位	下位1位



## ➤ 地域の元気は、「まちの賑わい」「地域経済の安定」「住みよさ」にあり。

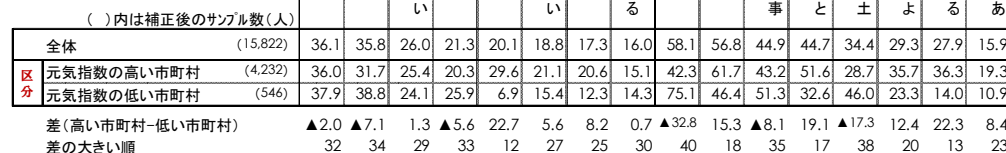
- ・「まちの賑わい」は、街や商店街に活気があり、若者が地域にいること。
- ・「地域経済の安定」は、地域に働く場があり、地域の経済環境が安定していること。
- ・「住みよさ」は、暮らしの利便性と、生活環境の快適性が確保されていること。

■ 地域元気指数の高い市町村と低い市町村における、元気の要素に対する回答割合の比較  
(「当てはまる」・計＝「当てはまる」・やや当てはまるの合計)



### ● 元気指数の高低の区分方法

- ① 回答件数が10件以上集まった511市町村を対象として、各市町村の地域元気指数を算出。
- ② 511市町村を母集団とし、各市町村の地域元気指数の偏差値を求めた。
- ③ 偏差値60以上を「元気指数の高い市町村」、偏差値40未満を「元気指数の低い市町村」として、それぞれの区分に住む人を対象に、集計を行った。
- ④ 偏差値60以上は83市町村、40未満は79市町村であった。



差の大きい上位10項目に網がけ

### ■ 地域元気指数と関連の高い領域

#### 地域元気指数との相関係数

「賑わい」があると思う	0.714
「経済が活発で安定していると思う	0.703
「住みやすいと感じている	0.583
地域の中で「生きがいや喜びを感じている」	0.485
「誇りや愛着」を感じている	0.384

※回答件数が10件以上集まった511市町村を対象として、各市町村の上記5領域に対し「当てはまる」「やや当てはまる」と回答した割合と、各市町村の地域元気指数の相関を分析した。







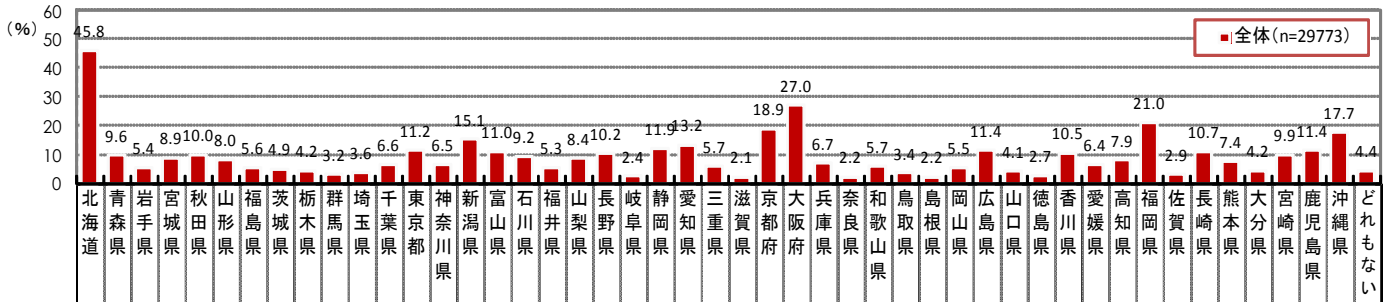
## 6. 都道府県別 食のイメージ

全国「地域元気調査2015」

- 食のイメージは総合力で「北海道」が首位。「大阪府」「福岡県」が追撃、「京都府」「沖縄県」「新潟県」も健闘。
- 食材よりも加工品・料理で地域を認知する傾向がある。

■食のイメージがある 都道府県ランキング  
 1位 北海道 2位 大阪府 3位 福岡県 4位 京都府 5位 沖縄県  
 6位 新潟県 7位 愛知県 8位 静岡県 9位 広島県、鹿児島県

### ■食のイメージがある都道府県(複数回答)



### ■食のイメージがある都道府県内で思い浮かぶ品目(複数回答)

※食のイメージがない人も含めた全体ベース

すべての表 n=29773

米	
1位	新潟県 14.5%
2位	北海道 10.6%
3位	秋田県 8.4%
4位	宮城県 4.7%
5位	山形県 4.5%

めん類	
1位	福岡県 11.5%
2位	香川県 9.4%
3位	北海道 7.8%
4位	沖縄県 5.9%
5位	長崎県 5.6%

野菜類、いも類、きのこ類	
1位	北海道 21.9%
2位	京都府 6.6%
3位	長野県 4.3%
4位	鹿児島県 3.7%
5位	沖縄県 3.0%

野菜・豆類加工品	
1位	北海道 7.9%
2位	京都府 5.6%
3位	長野県 2.9%
4位	茨城県 2.5%
5位	千葉県 2.4%

果実類	
1位	山梨県 7.4%
2位	青森県 6.7%
3位	長野県 6.5%
4位	北海道 6.4%
5位	宮崎県 5.8%

果実類加工品	
1位	山梨県 2.2%
2位	長野県 2.1%
3位	北海道 2.0%
4位	青森県 1.8%
5位	和歌山県 1.7%
5位	愛媛県 1.7%

水産物(鮮魚、貝類、海藻等)	
1位	北海道 34.6%
2位	富山県 9.1%
3位	石川県 7.5%
4位	静岡県 6.6%
4位	福岡県 6.6%

水産加工品(かまぼこ、干物等)	
1位	北海道 8.3%
2位	福岡県 5.3%
3位	静岡県 4.2%
4位	宮城県 3.8%
5位	富山県 3.3%

肉類(牛肉、豚肉、鶏肉等)	
1位	北海道 13.8%
2位	鹿児島県 7.1%
3位	宮崎県 5.9%
4位	沖縄県 5.0%
5位	熊本県 3.7%

ハム・ソーセージ類	
1位	北海道 11.0%
2位	沖縄県 1.8%
3位	鹿児島県 1.3%
4位	神奈川県 1.2%
5位	長野県 0.8%
5位	兵庫県 0.8%
5位	熊本県 0.8%
5位	宮崎県 0.8%

それ以外の肉類加工品	
1位	北海道 2.4%
2位	沖縄県 0.9%
3位	鹿児島県 0.7%
4位	栃木県 0.6%
4位	大阪府 0.6%
4位	宮崎県 0.6%

乳類(牛乳・チーズ等)	
1位	北海道 31.3%
2位	岩手県 1.1%
3位	長野県 1.0%
4位	千葉県 0.9%
5位	熊本県 0.8%

菓子類	
1位	北海道 12.6%
2位	京都府 8.2%
3位	沖縄県 4.7%
4位	東京都 3.4%
5位	長崎県 3.1%

アルコール飲料(日本酒、ビール、ワイン等)	
1位	北海道 6.7%
1位	沖縄県 6.7%
3位	新潟県 5.6%
4位	鹿児島県 4.5%
5位	山梨県 2.7%

飲料(ジュース、茶、コーヒー等)	
1位	静岡県 4.5%
2位	北海道 1.7%
2位	京都府 1.7%
4位	沖縄県 1.4%
5位	青森県 1.0%
5位	愛媛県 1.0%

調味料(しょうゆ、味噌、塩等)	
1位	愛知県 4.2%
2位	千葉県 1.9%
2位	京都府 1.9%
4位	長野県 1.6%
5位	沖縄県 1.4%

料理	
1位	大阪府 19.7%
2位	京都府 13.1%
3位	福岡県 10.7%
3位	沖縄県 10.7%
5位	北海道 8.6%

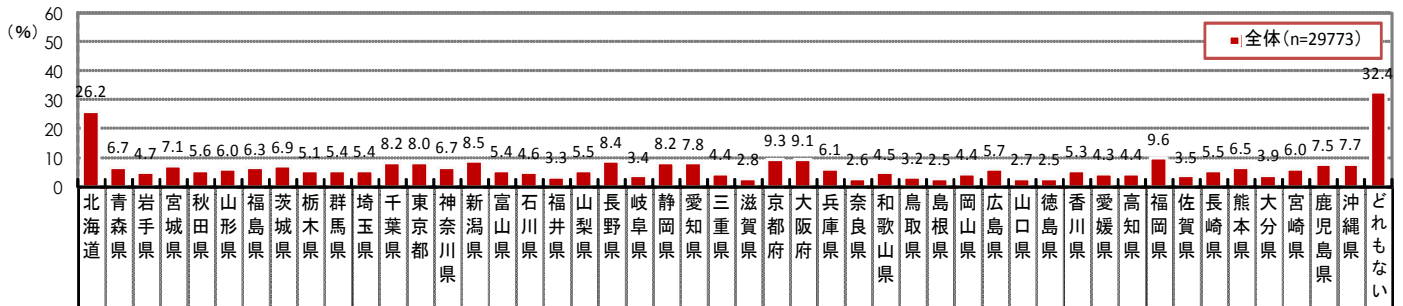
※「食のイメージがある」と答えた都道府県について、その都道府県内で生産加工されている「食材・食品、料理」として思い浮かぶ品目を17品目の中からすべて選択

# 7. この1年に食べた中で印象に残っている品目と産地

全国「地域元気調査2015」

- 印象に残った品目は「新潟県のコシヒカリ」、「香川県の讃岐うどん」、「北海道の牛乳、チーズ、バター」「秋田県のおきたこまち」、「北海道のゆめぴりか、ななつぼし」など。
- 「松阪牛」「神戸牛」「北海道スイーツ」「静岡茶」など、ブランド商品は地域名との相性が良い。

■この1年間にそこで生産加工されている「食材・加工品、料理」を食べたことがある都道府県（複数回答）



■1年間に食べた中で印象に残っている品目とその都道府県（品目は複数回答）

※印象に残っている品目がない人も含めた全体ベース

回答割合 (%)

すべての表 n=15822

米		
1位	新潟県	13.8%
2位	北海道	5.8%
3位	秋田県	5.4%
4位	山形県	2.4%
5位	宮城県	1.6%

めん類		
1位	香川県	7.9%
2位	秋田県	1.3%
2位	福岡県	1.3%
2位	長崎県	1.3%
5位	兵庫県	1.2%

野菜類、いも類、きのこ類		
1位	北海道	3.4%
2位	長野県	1.4%
3位	鹿児島県	1.1%
4位	茨城県	0.6%
5位	群馬県	0.5%
5位	徳島県	0.5%

野菜・豆類加工品		
1位	北海道	1.3%
2位	茨城県	1.1%
3位	千葉県	0.8%
4位	京都府	0.7%
5位	長野県	0.5%

果実類		
1位	山梨県	2.8%
2位	山形県	2.4%
3位	岡山県	1.9%
3位	福島県	1.9%
5位	宮崎県	1.6%

果実類加工品		
1位	愛媛県	0.6%
2位	山梨県	0.5%
2位	青森県	0.5%
4位	北海道	0.4%
4位	長野県	0.4%

水産物（鮮魚、貝類、海藻等）		
1位	北海道	4.0%
2位	静岡県	0.8%
3位	宮城県	0.7%
3位	広島県	0.7%
5位	富山県	0.6%
5位	青森県	0.6%
5位	岩手県	0.6%
5位	高知県	0.6%

水産加工品（かまぼこ、干物等）		
1位	宮城県	2.0%
2位	神奈川県	1.8%
3位	静岡県	0.8%
4位	北海道	0.7%
5位	鹿児島県	0.6%

肉類（牛肉、豚肉、鶏肉等）		
1位	三重県	1.6%
1位	兵庫県	1.6%
3位	北海道	1.0%
3位	鹿児島県	1.0%
3位	宮崎県	1.0%

ハム・ソーセージ類		
1位	北海道	1.4%
2位	神奈川県	1.0%
3位	岐阜県	0.5%
4位	長野県	0.4%
5位	埼玉県	0.3%

それ以外の肉類加工品		
1位	北海道	0.7%
2位	宮城県	0.3%
3位	神奈川県	0.2%
3位	宮崎県	0.2%
3位	沖縄県	0.2%

乳類（牛乳・チーズ等）		
1位	北海道	6.1%
2位	岩手県	0.5%
3位	熊本県	0.2%
3位	長野県	0.2%
3位	栃木県	0.2%

菓子類		
1位	北海道	1.8%
2位	東京都	0.9%
3位	京都府	0.8%
4位	新潟県	0.5%
4位	福岡県	0.5%

アルコール飲料（日本酒、ビール、ワイン等）		
1位	鹿児島県	1.3%
1位	北海道	1.3%
3位	新潟県	1.1%
4位	山梨県	1.0%
5位	沖縄県	0.6%
5位	山口県	0.6%

飲料（ジュース、茶、コーヒー等）		
1位	静岡県	1.1%
2位	愛媛県	0.7%
3位	青森県	0.5%
4位	長野県	0.3%
4位	東京都	0.3%
4位	京都府	0.3%
4位	北海道	0.3%

調味料（しょうゆ、味噌、塩等）		
1位	千葉県	1.0%
2位	愛知県	0.7%
3位	長野県	0.5%
4位	広島県	0.4%
5位	香川県	0.3%
5位	和歌山県	0.3%

料理		
1位	沖縄県	0.8%
2位	京都府	0.7%
3位	北海道	0.6%
4位	愛知県	0.5%
5位	福岡県	0.4%
5位	東京都	0.4%

※この1年以内に食べたことがある地域産品・地域ブランド産品、料理で印象に残っているものについて、17品目の中からいくつでも種類を選んだうえで、その産品や料理がある都道府県名を自由記入で回答  
※同じ産品・料理の種類で複数の品目がある場合は、一番印象に残ったものの都道府県名を回答